

2月子育てワンポイント

## 『なぜ人見知りをするのか？』

### 『人見知りはなぜおこるの？』

人見知りは一般的に、生後7、8ヶ月頃から2歳頃に、多くの赤ちゃんに見られます。

その理由については様々な解釈があるようですが、一般的には、いつも自分の身近にいて世話をしてくれたり、遊んでくれたりする人が、愛着の対象として特別な存在になるとともに、赤ちゃんに、「見慣れた顔」と「見慣れない顔」との違いを認識する力が、育ってきているからだと言われて

います。

### 『人見知りは「パパ・ママ大好き」のサイン』

誰にでも愛想よく笑っていた時期をすぎ、日頃お世話をしてくれるパパ、ママやそれに代わる特定の人に対してのみ、この愛想の良さが見られるようになります。その人が見えなくなると、泣いたり、怒った声を出したりして、その人が来るのを待つようになります。こういう姿が出てきたら「人見知り」が始まった合図です。甘えさせてくれる人には、安心して自分を出せる幸せを味わっています。

忙しくても十分甘えさせてあげてください。人見知りがなければ楽だと思ってしまうと、「これまでの育児を通して絆がしっかりとでき、愛着形成が育まれている」ことを喜びましょう。

### 『人見知りはさまざま』

逆に人見知りがなくて心配になっている方もいるようです。家族が大勢いて人の出入りが多い家庭、お店を経営している家庭など、家庭環境の影響を受けて人見知りをしない場合や、生まれつき社交的な性格の場合も、人見知りが見られない場合があります。

大事なのは、親しい人とそうでない人との区別ができているかどうかです。たとえ人見知りをしなくても、親しい人に甘えるような表情を見せるのなら安心です。人見知りは赤ちゃんの個性そのもの。赤ちゃんは小さな頭でたくさんを感じています。人見知りも、パパ、ママが区別できている心の成長の一つです。



～成長していく過程で見られる個性には家族の方も  
幸せや驚きを感じることでしょう。  
ほほえましく見守っていきましょうね～

